

OICの皆さん、おはようございます。私たちは引き続き、1世紀のローマ教会に宛てたパウロの手紙を読み進めます。ローマ書のこの部分にふさわしいタイトルは...

### 神は審判である

ローマ人への手紙

2:1 ですから、すべて他人をさばく者よ、あなたに弁解の余地はありません。あなたは他人をさばくことで、自分自身にさばきを下しています。さばくあなたが同じことを行っているからです。

そのような人々とは、神がその墮落した性質に引渡し、その罪深き墮落が全世界に明らかになった異教徒の罪人のことである。

ローマ書1章にあるように

24節 そこで神は、彼らとその心の欲望のままに汚れに引き渡されました。そのため、彼らは互いに自分たちのからだを辱めています。25節 彼らは神の真理を偽りと取り替え、造り主の代わりに、造られた物を拝み、これに仕えました。造り主こそ、とこしえにほめたたえられる方です。アーメン。

パウロは、“他人を裁くあなたがたも、これとまったく同じことをしているのです”と聞いて、自己を正当化する人々への辛辣さがわかっていました。彼は、律法を守るパリサイ人として、ステファノを殺したことを、聖霊が確信をもって彼の心に罪を示したその瞬間を思い出したのかもしれませんが。その同じ神の霊が、悔い改めと主であるメシアへの信仰の賜物をもって、復活した救い主を見させたのです。パウロは、自分の演説に自分の過去を蒸し返すような内容があったとしても、聖霊が聴衆にそのことを語るようにと祈っていたことは確かです。

さて、パウロは自己正当化の罪に焦点を当て始めます。パウロは、神との正しい関係のために律法を守っていると思い込んでいるユダヤ人を対象にしています。パウロの聴衆には、メシア・イエシュアを信じるユダヤ人も含まれていました。このユダヤ人は想像上の人物であり、パウロはローマ人への手紙のこの章と後の章で、ありそうな議論に対処するためにこの説教スタイルを用いています。こうした書き方はダイアトライブと呼ばれ、質問者を想定して主張を展開するものです。この場合、ローマ人への手紙1章で、ここまで語られたことを吸収し、異邦人の邪悪さに対する裁きに心から同調している人に焦点を当てようとしたわけです。

瞑想と祈りのためのヒントとして、ローマ人への手紙から次の結論を選びました。

- 1) 他者を裁く神の義に心から同意することは、私たちが神に裁かれるに値することを覆い隠すこととなります。

パウロは、ローマ書1章にあるように、真面目なユダヤ人が外見上は決して異教徒にならないことを知っていました。彼は完璧なパリサイ人で欠点のない規則を守っていました。使徒の働き 26:4-5 のアグリッパ王の前での個人的な証言の中で、彼はこのことを語っています。そして、ダマスコへの道でイエスに出会ったとき、イエスがパウロの名前を呼ばれたとき、聖霊はすぐに彼にステパノ殺害の罪を示されたと考えられるでしょう。それゆえパウロは、心の中に憎しみと殺人の罪を抱えながら、表向きは律法の規則を守ることができていることを知っていたのです。パウロは、自分自身を正当化した経験から、ここでの主張をより厳しいものにしたのでしょう。ローマのユダヤ教信者たちは、異教的な振る舞いを見せる外見上墮落した罪人との比較からではなく、自分たちの罪が赦されていることから慰めを得る必要があったのです。これは、あなたや私にも当てはまります！

**2-4 節** さて、パウロが直面しているのは、イエスを主と告白してまだ生まれ変わっていない、想像上のユダヤ人であることは間違いなさそうです。しかし、神の息吹が吹き込まれた聖書の美しいところは、私たちが生きている場所、私たち個人の罪や ニーズに届くところにあります。それは、まだ救われていないユダヤ人、あるいは道徳的な振る舞いをする罪人、あるいは自己正当化する未熟なクリスチャンです。生まれ変わったばかりのクリスチャンは、神がまだ取り扱われていない、いわゆる荷物や罪深い習慣を持っていることが多いのです。

**2 節** 神の正当な罰

**3 節** あなたがたの思想生活には異教の罪が含まれているので、神はあなたがたユダヤ人を裁かれるべきです。イエスの血で洗われることだけが、私たちを罪深い思いからきよめるのです。

マタイ 15 章で、イエスがこの内なる人の事実をどのように教えられたかを思い出してください。：

マタイ 15 章 17 節 口に入る物はみな、腹に入り、排泄されて外に出されることが分からないのですか。

18 節 しかし、口から出るものは心から出て来ます。それが人を汚すのです。

19 節 悪い考え、殺人、会員、淫らな行い、盗み、偽証、ののしりは、心から出て来るからです。

OIC の聖徒の皆さん！ 生まれ変わった後も、私たちの心はそのような罪深い思いを抱き続けていることを、恐れることなく自覚してください。私たちは、自分の思考生活について祈り、聖霊が私たちの助け主となってくださるようになり、純粋な思考を求め、不純な思考に反対するように祈らなければなりません。しかし、これも天国を待ち望む理由のひとつです。私たちが朽ち果てた肉体を離れるとき、私たちの心の中に残っている邪悪なものから永遠に離れることができます。しかし、イエスの血潮がすでに私たちの赦しを贖っていることを知っているのです、恐れる必要はないのです！パウロは、自分の心の中にある罪との戦いについて謙遜でない人に向かってこう言っているのです。

4 節 あなたは、神がどれほど素晴らしく親切で、寛容で、忍耐強い方かわからないのですか？このことは、あなたにとって何の意味もないのでしょうか？その優しさは、あなたを罪から立ち直らせるためのものだかわからないのですか？

これは、ユダヤ人であれ異邦人であれ、キリストを受け入れる前であれ後であれ、自己正当化の罪から立ち返ることを意味しています。パウロは、自己を正当化するユダヤ人をターゲットにしました。ここでの神の言葉は、自称“道徳的”な人間すべてに当てはまりません。ユダヤ人はモーセの律法を守ろうとすることで安心します。しかし、律法による義には完全さが必要であり、イエス以外のユダヤ人はそれを達成できませんでした。道徳的な人は、自分の善行を見て、それが神との正しい関係を築くのに十分だと考えるのです。

**5節** パウロが想像していたのは、彼がそうであったように、自己を正当化するユダヤ人であり、罪からメシア・イエシュアに立ち返ることを頑なに拒んでいました。こうして、この想像上のユダヤ人はキリストを信じなかったのです。神は審判の日にキリストを信じない全ての人を裁かれるのです。先週の日曜日にローマ 5:9 を分かち合ったように、私たちは信じるゆえに喜ぶことができます！

ローマ書 5:9 ですから、今、キリストの血によって義と認められた私たちが、この方によって神の怒りから救われるのは、なおいっそう確かなことです。

ユダヤ人であろうと異邦人であろうと、生まれながらのクリスチャンに対しても、ローマ人への手紙 2 章にあるこの聖句が適用されることを、私は今でも信じています。神は、私たちクリスチャンに適切な規律、すなわち「天の父からの痛みを伴う人生経験」を与え、私たちクリスチャンの自己正当化を取り除かれます。

ヘブル書 12:11 にはこうあります。

すべての訓練は、そのときは喜ばしいものではなく、かえって苦しく思われるものですが、後になると、これによって鍛えられた人々に、義という平安の実を結ばせます。”

だから、愛に満ちた天の父は、私たちが平和な生活に導き、イエスが私たちを取り巻く世界に真の影響を与えるように、自己正当化の罪を私たちに納得させてくださるのです。今、私たちが信じていることが、私たちの行動を生み出す-それが善であれ悪であれ。

**6-10節...** パウロは決して行いによる救いをほのめかすことはしませんが、「あなたがたは彼らの実によって見分ける」というイエスの教えを忘れることはありませんでした。

マタイ 7:16 でイエスはこう語られました。：

あなたがたは彼らを実によって見分けることになります。茨からぶどうが、あざみからいちじくが採れるでしょうか。”

これはクリスチャンであることを公言する人のライフスタイルに当てはまることであり、必ずしもすべての行動に当てはまるわけではないです。なぜなら、私たちは皆、イエスの姿に変えられていく過程にあるからです。

**7節** 忍耐をもって善を行い、栄光と誉れと朽ちないものを求める者には、永遠のいのちを与え…

報酬は行いによる救いではありません。これはローマ 1:17 の信仰から信仰への生き方、その論理的結論に過ぎません。イエスへの信仰によって生きることは、私たちに善を行い続けさせます。私たちが信仰を貫こうとするのは、最終章である「イエスに会う」ことを求めるためです。それは栄光-名誉-不死、神の賜物を求めることです。

**8-10 節の注釈**…ここでは、福音を信じることによって福音に従う 7 節と 10 節の信者と、イエスの福音を信じることを拒否し、従わない 8 節と 9 節の不信者とを対比している。

聖書がパウロのエペソ人への手紙 2 章 8 節で述べているように、信者が行う善行は救いをもたらすのではなく、信仰によって受けた救いを証明するものなのです。

エペソ人への手紙 2:8 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。

一方、悪のパターンとは、利己的で、真理を拒絶することであり、悩みや苦しみという神の怒りにつながります。「真理を拒み、悪に従う者たち」という言葉は、ローマ 1:18 と呼応しています。運命はユダヤ人か異邦人かによって決まるのではないのです。ユダヤ人が最初に挙げられているのは、神が歴史上、その民族に事前に対処していたからにほかなりません。人類が、まずユダヤ人に、そして異邦人に、報いを受けるか責めを受けるかという 2 つの部門に分けられていることは、パウロの第 3 の原則の宣言に自然につながります。11 節にあるように、神にはえこひいきがないからです。

神に選ばれた国民として最初に言及されたユダヤ人は、(EBC) 異邦人と同じように、クリスチャンとしての信仰から信仰へと、神によって裁かれるのです。ユダヤ人と異邦人の最後の審判は、イエスを通しての神との個人的な関係に完全に関連しています。

## 12-13 節

パウロは、すべての優れた教師がそうであるように、自分の主要な論点を繰り返すことを決して恥じません。彼は、この想像上のユダヤ人に対して、合理的で理知的な議論を展開しています。そこで彼は、神の御子の福音を拒む人間に対する非難の言葉を同じように紹介するが、強調のために、滅ぼされるという新しい言葉を紹介しています。聖書の「滅ぼされる」とか「滅びる」という言葉は、地上での死ではなく、永遠の死、つまり神からの永遠の分離を意味します。異邦人にとって、神の律法に関して無知であることは言い訳にはなりません。パウロが語っている間にも、彼らはイエスの福音を聞いているのです。ユダヤ人にとっては、神の律法を知っていても、完全に従わなければ何の意味もないのです。ここ O. I. C. にいるように、世界中の多くの国から来た私たちのほとんどは、以前の宗教がユダヤ教ではないでしょう。私たちの中には、神の栄光の御名を賛美し、生まれ変わったユダヤ人もいます。私自身は異邦人として生まれ変わったのですが、聖霊は数年前、米国マサチューセッツ州ボストンのパーク・ストリート教会で、詩篇 119 篇から「主よ、私はいかに汝の掟を愛すべきか」というタイトルの歌を歌うときに、「掟」という言葉を「御言葉」に置き換えるよう教えてもらいました。その心構えは、詩篇 119 篇 72 節にあるように、あなたの口の律法は、幾千の金銀にまさる。というものです。しかし、イエスは、エンジニアでありコンピューター・プログラマーである私の規律が、旧約聖書と新約聖書の両方から、主の御言葉の中にある愛を殺してしまうかもしれないことを知っておられました。しかしクリスチャンは、「律法」という言葉が意味するように、神の言葉、すべての聖書、そしてイエスの戒めを重要視しなければなりません。そこで私は、キリストとの個

人的な経験から、これを「教訓」とすることにしました。12-13 節の明確な非難理由は、このユダヤ人も異邦人も、イエスの福音にある神の御言葉を信じなかったからである：

2) 神の私たちへの御言葉は、個人的なものであり、一貫して愛のうちに与えられています。ユダヤ人であれ異邦人であれ、罪人に対する愛なしに神の言葉を法律として解釈することは危険です。パウロは、イエスの福音で与えられた神の愛だけが、つまり福音を信じることだけが、ユダヤ人であれ異邦人であれ、私たちを神のもとで安全に導くと宣言しています。

詩篇 119 篇

65 節 主よあなたはみことばのとおりにあなたのしもべに良くしてくださいました。

66 節 良い判断と知識を私に教えてください。私はあなたの仰せを信じています。

67 節 苦しみにあう前には私は迷い出ていました。しかし今はあなたのみことばを守ります。

68 節 あなたはいつくしみ深く良くしてくださるお方です。どうかあなたのおきてを私に教えてください。”

私たちをイエスに近づけるのは神の御言葉であり、十戒や律法ではなく、神の愛なのです。

#### 黙想と祈りのための要点

1) 他者を裁く神の義に心から同意することは、私たちが神に裁かれるに値することを覆い隠すこととなります。

2) 神の私たちへの御言葉は、個人的なものであり、一貫して愛のうちに与えられています。ユダヤ人であれ異邦人であれ、罪人に対する愛なしに神の言葉を法律として解釈することは危険です。パウロは、イエスの福音で与えられた神の愛だけが、つまり福音を信じることだけが、ユダヤ人であれ異邦人であれ、私たちを神のもとで安全に導くと宣言しています。

私の締めくくりの祈りは、賛美歌『神よ、私を探ってください』の歌詞です。教会の皆さん、一緒に祈りましょう：

神よ、私を探ってください。

そして私の心を知ってください。

救い主よ、私を試してください

私の思いを知ってください。

私のうちに

わたしをすべての罪からきよめてください。

すべての罪からわたしを清め

わたしを自由にしてください

教会に神の祝福がありますように！自由の中でイエスとの交わり、そして互いとの交わりに入りましょう。

ブルース牧師

#### 参考文献

(AKJV) 英国の特許権者であるケンブリッジ大学出版局の許可を得て複製されたオーソライズド・キング・ジェイムズ版。

(EBC) Expositor's Bible Commentary (要約版) : 新約聖書 Copyright 2004.

(NLT) 聖書, 新共同訳, 著作権 © 1996, 2004, 2015 by Tyndale House Foundation.